

ごあいさつ

「知覧茶」銘柄統一、飛躍の年に

南九州市長 塗木 弘幸



新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた平成29年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

南九州市は、平成19年12月に合併して以来10周年の節目の年を迎えました。本年もこれまで同様、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

昨年を振り返りますと、1月には5年ぶりの大雪で市内の交通がマヒし混乱しました。猛暑が過ぎ去ろうとする9月には台風が襲来し市内各地が被害に見舞われました。台風災害については今なお復旧事業が継続しており、市民生活や産業の復旧に職員が一丸となり日夜努力している状況です。

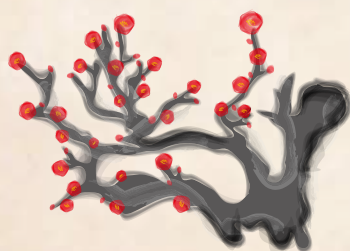
さて、本年3月には、南薩縦貫道の知覧金山水車インターから南九州知覧インター間が開通します。念願の交通大動脈が全線開通するということで産業面だけでなく観光面や交流人口の増大が大いに期待されるところであります。本年の新茶から知覧、顚娃、川辺のお茶が「知覧茶」として銘柄を統一しますが、その生産・流通の活性化に一層拍車がかかるものと思います。生産者・関係団体などが一体となって販売戦略を立て、名実ともに「日本一のお茶」となるようPRしていきたいと考えております。

また、本年は顚娃地区の3つの中学校の統合に向けて工事に着手し、平成31年4月の新生「顚娃中学校」開校を目指します。

国内の情勢は、東日本大震災、熊本地震後の復興や景気対策、社会保障改革と財政再建、TPPや外交・安全保障政策の立て直しなど大きな課題を抱えており、地方はその影響を大きく受けております。

本市は、このような情勢の中、ふるさと創生事業に積極的に取り組みながら行財政改革に努め、農業や地場産業の発展、観光の振興、社会基盤や生活環境の整備、健康・福祉の向上や教育・文化の振興、定住促進など、南九州市総合計画に基づいた諸施策を市民の皆さまと共に全力で推進してまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして健康で実り多い1年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。



2017 新年の



初心を忘れず、 さらなる議会の活性化を目指します

南九州市議会議長 蔵元 慎一

新年、明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、輝かしい新年を迎え健やかに
お過ごしのことと存じます。

かねてから市政、市議会に対するご理解とご
協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年のブラジルのリオデジャネイロで開
催されたオリンピック、パラリンピックでの日本
人選手の活躍は記憶に新しいところであります。

オリンピックでは、お家芸の柔道、体操、レス
リングなどでメダルを量産し、過去最多の41個
のメダルを獲得しました。特に女子レスリングの
伊調馨選手が前人未踏のオリンピック4連覇を
果たしたことは、日本人として非常に喜ばしく
誇らしいことであります。

パラリンピックでは、障がいを持った選手たち
の懸命に競技する姿に心から感動しました。

政治では、年末のアメリカ大統領選挙で何か
と話題のドナルド・トランプ氏が選ばれ、本年
1月には新しい大統領として就任することになっ
ていますが、今後の日米関係がどのような方向
に向かうのか目が離せない状況となっております。

国内に目を向けますと、4月には熊本で震度
7の地震が発生し、大きな被害に見舞われまし
た。被災地の日も早い復興をお祈りいたしま
す。

本市においては、9月の台風16号により、家屋、
農作物、道路などが大きな被害に遭い、合併し
てから最も大きな災害となったところでありま
す。市民の皆さまの生命と財産を守るため、今

後一層、災害への対策を強化していかなくてはな
りません。

議会の活動としましては、昨年は市内6カ所
で議会報告会を開催いたしました。その中で市
民の皆さまからの切実な思いや要望をたくさん
承ったところであります。厳しい財政状況の中で
市議会議員は、市民の皆さまの声を聞き、知恵
を頂きながら、市政発展のために努力してい
なくてはなりません。

本年の12月には合併から10年の節目を迎えま
す。干支の酉年にちなんで南九州市が羽ばた
いていけるよう、初心を忘れず、議会活動のさら
なる活性化に取り組みながら、活力と魅力のあ
る南九州市を目指していく所存であります。

本年も市議会に対しまして、変わらぬご支援
ご協力をお願い申し上げます。

